

# 国語科学習指導案

日 時 平成 26 年 11 月 21 日 (金) 公開授業①  
学 校 田野畑村立田野畑小学校  
学 年 4 年生 26 名  
場 所 4 年生 教室  
指導者 中屋 伸 繁

- 1 単元名 説明のしかたについて考えよう 写真と文章で説明しよう  
教材 「アップとルーズで伝える」『仕事リーフレット』を作ろう 光村図書 4 年下

## 【単元で育てたい力】

- それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読む力 (読イ)
- 写真と対応した部分に注意して読み取り、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめる力 (読エ)
- 書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書く力 (書イ)

か  
か  
わ  
り  
あ  
い

## 【単元を貫く言語活動】

- ・写真を使った委員会活動リーフレットを作ろう。

## 2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「写真を使った委員会活動リーフレットを作る。」ことを位置付けた。リーフレットを作るという活動では、自分が伝えたい情報を効果的に構成し伝えることが重要である。写真と文章との照応を考えたり、写真と文章を効果的に組み合わせたりして書くなど、情報の発信の仕方を工夫しなければならない。また、取材等から得た情報について、自分が伝えたい部分を選んで書くには、書こうとすることの中心を明確にして伝えるという思考力が求められる。従って、本単元でねらう育てたい力を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

## 3 単元について

### (1) 児童について

児童は、これまで第3学年「ありの行列」、「すがたをかえる大豆」を通して形式段落の要点把握、接続語に注目するとよいことなどを学び、第4学年「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」で段落相互のつながりや事実、説明、筆者の考えの関係をとらえる学習を行ってきた。これらの学習を通して、文章の「初め」に問題提起等、「中」に詳しい説明等、「終わり」にはまとめ等が書かれているという説明的文章の構成を概ね理解している。しかし、中心となる語や文を的確にとらえて読める児童は少なく、段落の要点を自力でまとめることは難しい。また、接続語の働きの理解や指示語の示す内容の読み取りもまだ十分とは言えない。

決められた課題にまじめに取り組むが、その一方で自分から積極的に考えたり、考えたことを友達と話し合ったりすることを苦手を感じる児童もいる。ペア学習には抵抗なく取り組み、自分の考えを少しずつ伝えることができるようになってきている。中には、児童同士でアドバイスをする場面も見られるようになってきた。

「話すこと」については、事前に準備しているものについては、ほとんどの児童が発表することができるが、普段の学習の場面での自発的な発表に抵抗がある児童もいるので、授業の中で自分の考えを書く時間を意図的にとるようにしている。

Q-Uの結果から、学級の児童の傾向として、学習に意欲的に取り組む児童が多いが、間違いを恐れて発言できない児童もいる。また、友達に優しく接しようとする気持ちを持っているが、自分から進んでかかわっていくことに苦手意識をもっている児童もいるので、児童相互のつながりを持つことが、今後の課題と思われる。

### (2) 教材について

本単元は、小学校学習指導要領国語「読むこと」の指導事項「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと(イ)」、「書くこと」の指導事項「文章全

体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること」を受けて設定したものである。

教材「アップとルーズで伝える」は、サッカーのテレビ中継を通して、「アップ」と「ルーズ」の情報伝達の違いを対比的に説明している。全部で8つの段落から成り立ち、3つの大きなまとまりで文章が構成されている。①段落と②段落は対比関係にあり、③段落でそれをまとめている（アップとルーズの定義）。④段落と⑤段落も対比関係にあり、⑥段落でそれをまとめている（アップとルーズの長所と短所）。⑦段落で新聞の写真という他の例を挙げ、⑧段落で全体をまとめる（アップとルーズの使い分けのまとめ）という分かりやすい構成になっている。

これらのことから、文章を大まかにとらえ、筆者が自分の考えを伝えたいために、それぞれの段落で何が書かれているのか、どのような書き方をしているのか、段落相互の関係について考えながら読み取っていくのに適した教材である。

教材『仕事リーフレット』を作ろう』では、写真と文章を工夫して組み合わせてリーフレットを作成する。写真と文章を対応させながら文章構成を考えていくことで、段落の関係に注意して文章を書くのに適した教材である。

### (3) 指導にあたって

第一次では、「アップ」と「ルーズ」で撮ったいろいろな写真を提示し、その写真の仲間分けを通して「アップ」と「ルーズ」に興味をもたせるとともに、写真を使った効果的な説明の仕方を考える学習への見通しをもたせるとともに、「委員会活動リーフレット」作りへの意欲を高めることができるようにする。

第二次では、説明の仕方の工夫や段落相互の関係を読み取ることができるようにするために、次の点に留意して学習を進めていく。

- ①問いの文、中心語句や中心文、接続語「しかし」「でも」、指示語「このように」などに着目しながら、大まかな文章構成をとらえることができるようにする。
- ②写真と文章を関連付けながら内容を読み取らせる。
- ③段落の役割を考えることで、段落相互の関係をとらえさせる。（「アップ」と「ルーズ」について、第①段落と第②段落、第④段落と第⑤段落で対比され、それぞれ第③段落と第⑥段落でまとめている。）

第三次では、「アップとルーズで伝える」で学習した説明の仕方のポイントを掲示しておくことで、自分が伝えたいことは何かを意識して委員会活動の「アップ」と「ルーズ」の写真を使い、段落を分けて書くなど、リーフレットを作成する際に活用することができるようにする。

## 4 単元の目標と評価基準

	目 標	評 価 規 準
関心・意欲・態度	写真と文章を対応させて、説明的文章を読んだり、取材したことを写真と文章で分かりやすくまとめて書いたりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の書き方に関心を持ち、「アップとルーズで伝える」の説明の特徴を見つけようとしている。</li> <li>・学習したことを生かしてリーフレットを作ろうとしている。</li> </ul>
書く能力	目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なことを調べて取材している。</li> <li>・写真と文章を対応させて書いている。</li> <li>・相手や意図に応じて、写真を選び、わかりやすくまとめている。</li> </ul>
読む能力	それぞれの段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章全体の構成と段落との関係を理解している。</li> <li>・写真と本文の対応関係を理解している。</li> <li>・対比・類比・補足・例示など本文内の内容の関係のいくつかを理解している。</li> </ul>
言語に関する知識・技能・理解	典型的な指示語や接続語の役割を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語や接続語は、文相互の関係を端的に示す手がかりになることを理解し、文章を読んでいる。</li> <li>・文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使っている。</li> </ul>

4 単元の指導計画 (全13時間)

【指導過程】

【主な活動】と【習得させたい力】

【単元を貫く言語活動】

写真を使った委員会活動リーフレットを作ろう。

第1次

「アップ」と「ルーズ」に興味をもち、「委員会活動リーフレット作り」への見通しを持つ。  
(2時間)

【主な学習活動】

- ①「上手な説明の工夫を見つけ、委員会活動リーフレットを作ろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。  
・単元のゴールについて、確かめ合う。【伝えあい】
- ②「アップとルーズで伝える」を読み、全体を3つのまとまりに分け、文章構成を大まかにとらえる。  
・文章の構成をペアで確かめ合う。【伝えあい】

【習得させたい力】

- 文章構成を考えながら、全体を大きく3つのまとまりに分けること
- 課題解決の見通しをもつこと

第2次

写真の活用や対比、まとめなどの説明の仕方に着目し、段落相互の関係を読み取る。  
(4時間)

【主な学習活動】

- ③写真と文章の関係に注意しながら、第1段落～第3段落を読み、段落相互の関係を考える。  
・写真と文章を対応させた説明のしかたの効果について考えを出し合う。【伝えあい】
- ④写真と文章の関係に注意しながら、第4・第5段落と第6段落の関係を読み取り、アップとルーズの違いをまとめる。(本時)  
・アップとルーズの違いを考え、ペアで確かめ合う。【認めあい】
- ⑤第7、第8段落を読み、情報の送り手の意図に応じたアップとルーズの使い分けについてまとめる。  
・第7、第8段落の役割を考え、発表する。【伝えあい】
- ⑥全文を読み、筆者の説明や工夫についてまとめる。  
・説明の工夫を発表し合い、お互いのよさを認め合う。【認めあい】

【習得させたい力】

- それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているか考えること
- 写真と対応した文章に着目し、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめること
- 接続語に着目して段落構成を理解すること
- 対比の文章構成、効果を理解すること

第3次

「アップ」と「ルーズ」で学習した説明の工夫を活用して、委員会活動リーフレットを作り、友達と紹介し合う。  
(7時間)

【主な学習活動】

- ⑦リーフレットにまとめたい委員会を選び、取材計画を立てる。
- ⑧取材をし、必要な情報を集める。
- ⑨・⑩集めた情報からリーフレットに載せる材料や写真を選び、リーフレットの構成を考える。
- ⑪・⑫下書き、リーフレットの見直し、清書をする。
- ⑬リーフレットを紹介し合い、感想を交流し学習のまとめをする。  
・作ったリーフレットを紹介し合い、お互いのよさについて交流し合う。【認めあい・高めあい】

【習得させたい力】

- 必要なことを調べて取材すること
- 写真と文章を対応させながら文章構成を考えること

5 本時の指導（4／13時間）

(1) ねらい

アップとルーズの伝えられること・伝えられないことを読み取るとともに、段落相互の関係を理解することができる。

(2) 本時における人とかかわり合う活動の視点

お互いに自分の考えを相手に伝え合う活動を設定し、自分の考えを広げたり、深めたりする。

(3) 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点（手立て） 留意点○ 評価◎ かかわりあい【 】
導 入  5 分	1. 前時の学習を想起する。 2. 本時の学習課題を確認する。 アップとルーズでは、どんなちがいがあ るのだろう。	○前時に読み取った「アップとルーズ」の意味と第3段落の問いの文を確認する。 ○第3段落の問いに対する答えがある第4段落と第5段落を読み取ることを確認する。
展 開  37 分	3. 学習課題を解決する。 (1) 学習範囲（第4、5、6段落）を音読する。 (2) アップでとると分かることと分からないことを読み取る。 (第4段落) ・分かることと分からないことにサイドラインを引く。 (3) ルーズでとると分かることと分からないことを読み取る。（第5段落） ・一人でまとめる ・ペアで考えを交流する ・全体で確かめる (4) 第4段落と第5段落の似ているところとちがうところを考える。 (5) 第4、第5段落と第6段落の関係を考える。 4. 本時の学習をまとめる。 (1) ワークシートにまとめる。 アップとルーズには、伝えられることと伝えられないこと があり、目的に応じてアップとルーズを切りかえながら放送 をしている。	○アップとルーズで、どんなちがいが書いてあるのか考えながら音読させる。 ○「伝わります」「分かります」「分かりません」という文末表現に着目させ、ワークシートにまとめさせる。 ○「しかし」という接続語に着目させ、その前後に分かることと分からないことが書いてあることに気づかせる。 ○各自が読み取ったことを写真と照らし合わせて、全体で確認する。 ○第4段落で学習した方法で、各自がワークシートにまとめることを通して、ルーズでとると分かることと分からないことを読み取るようにさせる。 【伝え合い】ルーズで分かることと分からないことについて読み取ったことをペアで交流し合い、考えを広げたり深めたりする。 【認め合い】お互いの読み取ったことや考えを認め合う。 ○「でも」という接続語に着目し、その前後に長所と短所が書いてあることに気づかせる。 ○「このように」が何を指すのかを考えさせ、第6段落が第4、第5段落のまとめになっていることに気づかせる。 ○アップとルーズそれぞれの「伝えられること」と「伝えられないこと」は何か確認する。 ◎「アップ」と「ルーズ」のそれぞれの伝えられることと伝えられないことや目的に応じて使い分けられていることを読み取っている。（ワークシート・発表）
終 末 3 分	5. 本時の学習をふり返る。 6. 次時の学習内容を確認する。	○今日の学習について、学習のがんばりと学習内容についてふり返りをさせる。 ○次時は、第7、第8段落を読み、「アップ」と「ルーズ」の使い分けについてまとめることを確認する。